

入場無料
予約不要

2020年3月7日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第99回 アントロポセン（人新世）とバイオミメティクス その6：コミュニティ

環境保全を進めるには、科学的な知見に基づいて利害関係者（ステークホルダー）が協働で進める、というのが現在世界的にも標準的な手法とされています。しかし、一方で、それだけではうまく

行かないことも数多く報告されています。なぜ環境保全はうまくいかないのでしょうか。どうすればうまくいくのでしょうか。

私は、国内外のさまざまな事例を現場で調査しながら、そのことについて考えてきました。

今回は、人と自然との相互作用(半栽培)や地域で共同でかかわるしくみ(コモンズ)、さらには環境保全に求められる「順応性」というものに注目しながら、環境保全を進めていくための視点について考えてみようと思います。



なぜ環境保全はうまくいかないのか？ 半栽培とコモンズから考える

宮内 泰介

北海道大学大学院文学研究院 教授

主催：北海道大学総合博物館
共催：高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
高分子学会バイオミメティクス研究会
公立千歳科学技術大学地域連携センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分